

マダニ対策、今できること！

森林地帯には、林業作業者が特に注意しなければいけない生物が、“マダニ”です。春から秋(3月～11月)にかけて活動が活発になります。マダニによる感染症がいくつかある中、近年注目されている、**SFTS ウィルス(重症熱性血小板減少症候群)**。噛まれることにより感染する病気で、主な症状に、**発熱、食欲低下、嘔吐、下痢、腹痛**があり、時に**頭痛、筋肉痛、意識障害、痙攣**など伴う場合があります。死亡率は10%前後といわれています。

マダニの予防対策としては、**肌の露出を防ぎ長袖長ズボンを着用し、裾は中に入れ込み、境目に防虫剤などをスプレーしておく**と、効果的です。また、**明るい色の服装に統一した方が、マダニが確認しやすくなります**。噛まれた場合は無理に引き抜くと、一部が皮膚内に残り化膿する場合がありますので、医療機関で処置することをおすすめします。SFTS ウィルスに感染した場合、**1～2 週間後に症状が発症するので、体調の変化に注意し、発熱等の症状が見られたら、直ちに医療機関で診療を受けること**を心がけましょう。帰宅前に、衣服全体をガムテープなどで取り、シャワーや入浴で付いてないかのチェックをすることが、初期の予防対策としてあげられているので、実践しましょう！

エラーを責めず、違反を責めよ！

林材業における災害発生は減少傾向にあるものの、その発生率は依然として高い水準にあります。その背後には、作業者のヒューマンエラーがあることは、再三述べてきました。作業環境は勿論、作業者の身体的特性、人間関係、コミュニケーションの方法など、さまざまな要因が関与していることを忘れてはなりません。そこで注目したのが、違反に対する意識です。**エラーに罰則を与えるのではなく、違反に罰則を与えるということです。**

エラーとは、「誤り」「間違い」という意味で、大きく3つに分類しています。

○スリップ：間違うドジ型 ○ラプス：「ど忘れ」のボケ型 ○ミステイク：勘違い型

ミスやエラー、違反を防ぐには、罰則もそれなりの効果があると言われています。エラーはわざととするわけではありません。なぜエラーしたのかをよく聞き出して、情報を共有し、対策に結び付けることが大事です。一方、「違反」は文字通り、規則の違反やマニュアルの違反などです。意図的なのか、うっかりミスなのか、きちんと識別して対応することが大事です。失敗したという情報を全体に公表しないと、原因が分からず改善にもなりません。そのためにも、**エラーに罰則ではなく、違反に罰則を与える方が効果的**というわけです。

依田林業新聞

発行所

(有) 依田林業
塩山事務所
総務部

今月の一言

恐るべき競争相手は、常に向上させ続ける人間だ

★梅雨の豆知識★

梅雨は何故「梅」と書くのか知っていますか。梅が熟する時期だからという説、毎日雨が降るから「毎」という字に当てたという、いろんな説があるそうです。

何故6月に雨の日が多いのか。簡単に説明すると、北と南の気団が衝突すると、東西数千キロに渡って梅雨前線が発生し、雨が降るとのことみたいです。

その他に、「梅雨だる」という言葉はご存知でしょうか。大気が低気圧になると、身体は副交感神経が働き、身体がお休みモードになり、だるさや疲れ、ストレスが溜まりやすくなります。肩こりや偏頭痛もおきやすくなるそうです。予防として、朝光を浴び、体内時計をリセットしたり、ウォーキングやストレッチなどの軽い運動を習慣にしたり、朝食をしっかり食べ、夜はぬるま湯にしっかりと浸かり、睡眠は十分に摂ることを心掛けましょう。今年の梅雨入り予想は6月8日～みたいですので、良質なたんばく質を摂り、しっかりと乗り切りましょう。